



エコアクション21
環境活動レポート
平成28年10月～平成29年09月
平成30年 1月30日作成



株式会社阿部工務店
ABE Construction

環境レポート 目次

1. 環境方針
2. 組織概要
3. 環境目標と実績
4. 活動内容と結果、評価
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 化学物質使用量の適正管理
 - (6) 事業活動における環境配慮の推進
5. 関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無
6. 代表者による全体評価と見直し
7. 次年度の環境活動計画

1. 環 境 方 針

当社は、福岡の地で昭和21年創業以来、人と人の繋がりを大切にして成長してまいりました。建設業という事業活動を通して、地球環境の保全が21世紀を生きる人々の最重要課題の一つであることを認識し、ひとつでも多くの笑顔が次の世代に咲くように、地域社会の一員として下記の環境保全活動を推進してまいります。

1. 以下のとおり、環境に配慮した取り組みを行います。

- (1) 節電や省エネ等による二酸化炭素排出量の削減
- (2) 再利用や適正管理等による廃棄物排出量の削減
- (3) 節水等による水使用量の削減
- (4) 建設資機材や備品のグリーン購入の推進
- (5) 化学物質使用量の削減（適正管理）
- (6) 環境に配慮した設計・施工の提案推進
- (7) クリーンな街づくりに貢献する活動推進

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

平成26年 4月 1日

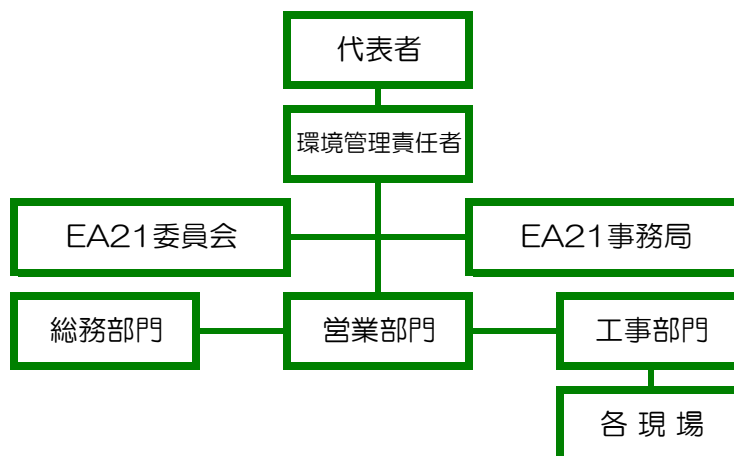
株式会社 阿部工務店

代表取締役社長 阿部 晋士

2. 組織概要

- (1) 事業所名 株式会社 阿部工務店
- (2) 代表者名 代表取締役社長 阿部 晋士
- (3) 所在地 〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町14番18号
- (4) 環境管理責任者 開発営業本部：島
連絡先 TEL：092-621-2092
FAX：092-621-4756
Email：t-shima@abe-const.co.jp
- (5) URL <http://www.abe-const.co.jp>
- (6) 事業の内容 総合建設業（設計・監理・施工）
宅地建物取引業（土地活用のコンサルタント）
- (7) 対象活動 建築工事業、大工工事業、電気工事業、管工事業
一級建築士事務所
宅地建物取引業
- (8) 許可番号 建設業許可：福岡県知事許可(特-28)第1052号
一級建築士事務所許可：福岡県知事登録番号 第1-10784号
宅地建物取引業/福岡県知事免許(12)第4443号
- (9) 創業 昭和21年01月01日
- (10) 事業の規模 完成工事高(H28.10~H29.09)：446百万円
従業員数：13名
- (11) 事業年度 10月~翌年09月

(12) 対象組織



3. 環境目標と実績

(1) 環境目標 H28.10~H29.09

		区分	単位	基準年 (平成23年度)	平成29年度目標 基準年-5%	平成31年度目標 基準年-7%	平成32年度目標 基準年-8%
				H22.10から H23.09まで	H28.10から H29.09まで	H30.10から H31.09まで	H31.10から H32.09まで
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	49,571	47,093	46,101	45,605
		事務所	kg-CO ₂	37,010	35,160	34,420	34,050
		現場	kg-CO ₂	12,561	11,933	11,681	11,556
	(1) 電気使用量の削減	事務所	kg-CO ₂	13,349	12,681	12,414	12,281
		現場	kg-CO ₂	5,692	5,407	5,293	5,236
	(2) ガソリン使用量の削減	事務所	kg-CO ₂	17,900	17,005	16,647	16,468
		現場	kg-CO ₂	6,271	5,957	5,832	5,769
2	廃棄物排出量の削減	全社	t	645.10	612.85	599.94	593.49
	(1) 一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.30	1.24	1.21	1.20
	(2) 産業廃棄物排出量の把握・適正管理	現場	t	643.80	611.61	598.73	592.30
3	水使用量の削減	事務所	m ³	807.00	766.65	750.51	742.44
4	化学物質の適正管理	現場	-	数値目標は掲げないが、一定規模以上の工事についてはSDSを確認			
5	グリーン購入の推進	全社	品目数	未把握	14	16	17
6	環境に配慮した設計・施工の提案推進	全社	件	未把握	6	8	9
7	事業活動における環境配慮の推進	全社	件	0	12	12	12

備考) 二酸化炭素排出量削減において、購入電力の実排出係数は、0.385kg-CO₂/kWh(H22年度九州電力実排出係数)を使用しました。

(2) 環境実績 H28.10~H29.09

	区分	単位	基準年	運用期間		達成率	評価	
			H22.10~H23.09 (実績値)	H28.10~H29.09 (目標) 基準年-5%	(実績)			
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	49,571	47,092	38,211	119%	○
		事務所	kg-CO2	37,010	35,159	26,258	125%	○
		現場	kg-CO2	12,561	11,932	11,953	100%	○
	(1) 電気使用量の削減	事務所	kg-CO2	13,349	12,681	9,851	122%	○
		現場	kg-CO2	5,692	5,407	5,402	100%	○
	(2) ガソリン使用量の削減	事務所	kg-CO2	17,900	17,004	16,407	104%	○
		現場	kg-CO2	6,271	5,957	6,551	90%	○
2	廃棄物排出量の削減	全社	t	645.10	612.85	123.35	180%	○
	(1) 一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.30	1.24	1.08	113%	○
	(2) 産業廃棄物排出量の把握・適正管理	現場	t	643.80	611.61	122.27	180%	○
3	水使用量の削減	事務所	m ³	807.00	766.65	382.00	150%	○
4	化学物質の適正管理	現場	-	数値目標は掲げないが、一定規模以上の工事についてはSDSを確認		-	○	
5	グリーン購入の推進	全社	品目数	未把握	14	40	286%	○
6	環境に配慮した設計・施工の提案推進	全社	件	未把握	6	22	367%	○
7	事業活動における環境配慮の推進	全社	件	0	12	12	100%	○

備考) 二酸化炭素排出量削減において、購入電力の実排出係数は、0.385kg-CO₂/kWh(H22年度九州電力実排出係数)を使用しました。

達成率は、1~3では(2-実績値/目標値)で計算し、5~7では、(実績値/目標値)で計算しています。

二酸化炭素排出量には、軽油と灯油を含みません。なお、初年度の軽油と灯油を含む二酸化炭素排出量は49845kg-CO₂で今年度の軽油と灯油を含む二酸化炭素排出量は41250kg-CO₂でした。

4. 活動内容と結果、評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

目標	取組活動	結果	評価
電気使用量の削減 (△5%)	節電ラベルの掲示	○	6月に事務所1階の照明器具をLED照明に交換したため、CO2排出量を削減できた。
	昼休みの消灯運動	○	
	使用していない部屋の照明と空調の電源OFF	○	
	18時以降の自動ドア電源OFF	○	
	空調の送風量を「OFF」又は「弱」推奨	○	
ガソリン使用量の削減(△5%)	急発進、急加速、急ブレーキの低減	○	通勤に自転車を利用する社員がいる。今後も継続して自転車又は徒歩での移動を推奨する。
	近場への移動は共用自転車又は徒歩で移動を推進	○	
	タイヤ空気圧の定期的確認	○	
	目的地・経路の事前確認による迷走防止	○	

2. 廃棄物排出量の削減

目標	取組活動	結果	評価
一般廃棄物排出量の削減(△5%)	裏紙使用によるコピー用紙低減	○	A3用紙の裏紙使用が普及していないため周知を行う。
	社内LANの活用による印刷物の低減	○	
	廃品回収の積極利用	○	
	コピー機等のカートリッジ回収ルート確立	○	
産業廃棄物排出量の把握・適正管理	マニフェストによる適正管理	○	現場毎に各書面により適正に管理が行えている。
	廃棄物処理業者への適正な委託契約	○	
	無駄な資機材購入の削減	○	
	石膏ボードの分別	○	

3. 水使用量の削減

目標	取組活動	結果	評価
事務所の水使用量の削減(△5%)	節水ラベルの掲示	○	事務所のシャワー室を利用する職員が減ったため水使用量の削減につながった。
	水漏れ点検	○	
	散水ホースの先にストッパーを取付け	○	
	植込の水やりは雨水を積極利用	○	

4. 化学物質使用量の適正管理

目標	取組活動	結果	評価
化学物質の適正管理	5000万円以上の工事はSDSを把握	○	書面により適正に管理できている。継続する。
	PRTR制度対象物質の少ない材料を使用推奨	○	

5. グリーン購入の推進

目標	取組活動	結果	評価
再生資源の調達率の向上	文房具購入時にエコマーク製品を選定推奨	○	エコマーク製品の選定が積極的にできた。継続する。
	計画的な物品の購入	○	
	建設資材や備品のグリーン購入推進	○	

6. 環境に配慮した設計・施工の提案推進

目標	活動項目	結果	評価
環境に配慮した設計・施工の提案推進	環境に配慮した設計・施工の調査	○	塗料の使用に際し自然塗料を選定した。

7. クリーンな街づくりに貢献する活動推進

目標	活動項目	結果	評価
地域環境保全	事務所入口の緑化維持推進	○	担当者が責任をもって清掃活動を行っている。次年度も継続する。
	現場前面道路の清掃活動	○	

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・平成30年1月に下記法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、3年間関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

適用される法規制等	適用される事項
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、管理票交付状況の確認、報告
下水道法	建設現場排水の適正管理、報告
消防法	消火設備等の点検
労働安全衛生法	建設現場労働者の健康診断受診
自動車リサイクル法	社用車の適正管理、届出
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器の適正管理、届出
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正管理、届出
小型家電リサイクル法	小型電子機器等の適正管理
建設リサイクル法	一定規模以上の工事の届出
建築基準法	石綿等の適正管理
石綿規則	石綿含有建材撤去時の適正処置
ラージリサイクル法	再生資源利用の促進、記録
騒音規制法	コンプレッサー、削岩機、鋸打ち機の適正管理、届出
振動規制法	杭打機、ブレーカー、舗装版破碎機の適正管理、届出

6. 代表者による全体評価と見直し

現場のガソリン使用量が目標を達成しなかった。現場毎に様々な条件があり、目標を達成することはなかなか難しいと思われる。

EA21初年度から6年経過し目標の見直しも必要と思われる。

このため、H31年度を目途に目標を再設定する等の措置を取りながら、無理のないシステム運営を継続していきたい。

また、今年6月には、事務所1階の照明器具をLED照明に取替えた。これにより、更にCO₂排出量の削減ができると思われるので、次年度も無駄のない電気の使用を心掛ける。

7. 次年度の環境活動計画

次年度は活動計画を見直し運用する。